

高知保険医協会 市民公開講座

「公益通報者保護の歴史と理念、運用を主要国に学び、

そこから兵庫県の問題、医療の問題を考察する」

内部告発を報道に生かす仕事に長年携わり、いまは上智大学でジャーナリズムを教える奥山俊宏教授が、内部告発者保護の発想や公益通報者保護法について、海外の主要国での歴史をひとつもときながら解説します。

兵庫県で告発者が自死した事例に見られるように、組織内部の問題点を外部に知らせる内部告発をした人たちは、往々にして裏切り者とみなされ、弾圧されがちで、医療現場もその例外ではない、と奥山教授は指摘しています。そうした内部告発者を守ることで、組織の不正や違法を正せる道を広げようと法制度が整えられつつあります。兵庫県の事例や医療現場の事例に触れつつ最新の動きを紹介します。

日時：6月15日(日)午後2時～午後4時

会場：高知会館 「飛鳥」

(高知市本町5-6-42 ・ TEL 088-823-7123)

参加費：無料

オンライン参加 (ZOOM ウェビナー) も可能です。

参加申込 URL

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_j1XSLK80RCeLsa2xTADk9w

主催／高知保険医協会

(高知市河ノ瀬町41-1-4F TEL. 088-832-5231 FAX. 088-832-5229)

後援／高知新聞社・RKC 高知放送、KUTV テレビ高知、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、
読売新聞高知支局

(申請中：高知県、高知市、KSS さんさんテレビ、NHK 高知放送局)

講師紹介：奥山俊宏上智大学教授 (文学部新聞学科)

1966年、岡山市生まれ。

1989年、東京大学工学部原子
力工学科卒、同大学新聞研究所修了。

同年、朝日新聞社入社。2022年
までの33年、水戸、福島、社会部、

特別報道部などで記者。この間、
2009年、アメリカン大学研究員

(調査報道ワークショップ)。2011
年から国際調査報道ジャーナリスト

連合 (ICIJ) メンバー。2013～
2022年、朝日新聞編集委員。

2022年4月から上智大学教授 (文学部新聞学科)。

著書『秘密解除 ロッキード事件 田中角栄はなぜアメリカに嫌われたのか』(岩波書店、2016年7月)で司馬遼太郎賞、日本記者クラブ賞を受賞。そのほかの著書に『内部告発のケーススタディから読み解く組織の現実』(朝日新聞出版、2022年4月)、『内部告発の力 公益通報者保護法は何を守るのか』(現代人文社、2004年4月)など。共著に『バブル経済事件の深層』(岩波新書、2019年4月)、『ルポ 内部告発 なぜ組織は間違えるのか』(朝日新書、2008年9月)など



電話、FAX、あるいは当協会ホームページ

お問い合わせページ (<https://hkni.biz/>)

から、参加のお申込みをお願いします。

TEL. 088-832-5231

FAX. 088-832-5229

協会HPはこちら

